

新規・継続別	新規	分野	農業水利改良	事業番号	50	事業名	県営畑地帯総合整備(担い手支援型)			
(ふりがな) 市町村名	川上村		(ふりがな) 箇所名	はら原		事業年度 (完了年度は見込み)	H23年度 ~ H28年度			
事業概要	計画概要 (延長・巾・面積・工種など)		畑地かんがい A=245ha 排水路 L=1,890m 農道 L=7,560m			H22年度末事業進捗率		0%		
	H23年度以降実施内容		同上			本工事費ベース		0%		
	H23年度実施内容		測量・設計 1式			用地補償費ベース		-		
	年度		全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度要求額	H23年度以降残			
	事業費計(千円)		2,700,000	0	0	100,000	2,700,000			
	財源内訳	国庫支出金	1,350,000	0	0	50,000	1,350,000			
		その他	675,000	0	0	25,000	675,000			
県債		607,000	0	0	22,000	607,000				
一般財源		68,000	0	0	3,000	68,000				
事業評価	区分	評価項目・指標等			評価 (基本的にはA・B・Cの3ランク)		部評価 ランク	部評価 評点	政策評価 ランク	政策評価 評点
	必要性 (20)	受益面積	200ha以上	20ha以上~200ha未満	20ha未満	A	5	A	5	
		施設危険度	人家への災害が予想される	農地への災害が予想される	災害が予想されない					
		野菜・果樹指定産地	指定あり	指定なし						
		小計								17
	重要性 (20)	市町村計画での位置づけ	位置づけあり	位置づけなし		A	5	A	5	
		県農政の重要施策への取組み	2つ以上推進している	1つ推進している	取組みなし					
		設計上の環境配慮項目	2項目以上配慮	1項目配慮	配慮項目なし					
		小計								20
	効率性 (15)	費用対効果(B/C)	B/C1.2以上	B/C1.1以上~1.2未満	B/C1.0~1.1未満	B	5	B	5	
		早期発現度(効果発現まで)	5年以内	6年以上10年未満	10年以上					
		地域特有の取組みをしている	2項目以上	1項目	なし					
		小計								11
	緊急性 (25)	農業被害	5年に2回以上	5年に1回	なし	A	10	A	10	
		畑かんの破管数	0.5箇所以上/ha	0.3~0.5箇所以上/ha	0.3箇所未満/ha					
		維持管理費節減	50%以上	30%以上50%未満	30%未満					
		小計								21
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な活動が強い	市町村からの要望がある	特に要望ない	B	6	B	6	
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者を中心に周知	特に周知してない					
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	住民意見は反映していない					
		小計								13
	費用対効果(B/C)		1.68	評価項目の合計			A	82	A	82
	事業周辺環境	事業に至る歴史的経緯・社会的背景	本地区は昭和40年代に造成され畑かん、排水路及び農道を整備したが、施設の老朽化が進んでいる。また、畑かん及び農道は一部が未整備のため、作物への灌水に多大な労力を要しているほか、輸送の際の荷傷みや粉塵により、レタス等の品質低下を招いている。さらに、排水路の老朽化に伴う損壊により、畑の侵食や、滞留による冠水のために根腐れを起こしている。このため、畑かん、排水路、農道を整備することにより、農業経営の安定を図りたい。							
		地域からの要望経緯	平成20年4月に村会議員が行った原地区の畑かんの整備要望調査で80%以上の農家が事業実施を望んでいることが判明し、同年6月に農家への事業説明会を行った。その後、同地区において調査委員会が設立され、事業内容の検討や受益者の事業参加の確認作業等を行われた。その結果、平成21年3月に調査委員会から村へ事業の申込書が提出された。							
		事業説明等の経緯	平成21年6月の事業説明会及び原地区県営畑地帯総合土地改良事業調査委員会に対する説明会を平成22年10月までに計12回実施した。事業の実施については平成22年4月の説明会で了解を得られている。また、平成22年11月に受益者に対し事業報告及び法手続きについての説明会を実施した。							
環境・景観への配慮項目		環境配慮制度対象箇所 路盤や基礎材の砕石には、リサイクル品を使用する。計画施設は現況施設と同位置での施工計画とし、地形の改変を最小限に留める。また、取水施設は構造上、魚類の生息環境を損なわない形状とする。								
他事業・プロジェクトとの関連		特になし。								
特記事項		地元では事業化について非常に意欲的で、意見の集約についても役員が熱心に取りまとめている。								
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	レタス産地における畑かん施設が老朽化し、未舗装の農道による荷傷みや粉塵、排水不良による水害も発生しており、緊急性、必要性が高い。		政策評価課意見	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。						